

視察等報告(復命)書

三次市議会議長 様

報告者氏名 黒木 靖 治

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

視察議員	3会派 (会派ともえ・真正会・公明党)
期 間	令和4年5月18日(水)～令和4年5月20日(金)
視 察 先	・衆議院第一議員会館 ・参議院議員会館
視 察 用 務	① デジタル田園都市構想について
	② 農業振興について
	③ 観光振興について
視察先対応者	関係省庁担当職員
概要及び所見	① デジタル田園都市構想について
	コロナ渦で地方を巡る社会経済状況が大きく変化してきている中で、デジタルインフラの飛躍的な整備が進んでいて、デジタル技術を活用する機運が高まっていて、これを機に、国は、デジタル田園都市国家構想の実を打ち出している。
	(1) 自治体のデジタル化推進
	国は、2024年までの地方創生の基本的方向性を掲示するデジタル田園都市国家構想総合戦略を策定し、地方公共団体は、新たな状況下で目指すべき地域像を再構築し、地方版総合戦略を改訂し、具体的な取り組みを推進とされている。
	我が市では、「第2期三次市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、「田園都市Xデジタル」を方向性を示している。
	三次市においては、国は地方版戦略に基づいて、交付金などを様々な施策を活用をしてデジタル化を積極的に行なっていくべきです。
	(2) デジタル人材育成
	三次市においても、少子高齢化が進み免許証返納による公共交通や買い物

概要及び所見	、行政手続きなどいろいろな課題がある中で、いつの方法としてデジタル活用が今後重要になってくる中で、デジタル人材の育成をしなければならない。
	国のデジタル活用支援推進事業を積極的に活用して普及をして、三次市でのデジタル人材を育成すべきだと思います。
	<b>(3) 高齢者支援</b>
	三次市においても、少子高齢化が進み免許証返納による公共交通や買い物行政手続きなどいろいろな課題がある中で、誰一人取り残されない、人に優しいデジタル社会の実現には、デジタルに不慣れな方々へのきめ細やかなサポート体制の整備が必要です。
	<b>② 農業振興について</b>
	<b>(1) みどりの食料システム戦略について</b>
	環境負荷軽減に資する「みどりの食料システム戦略」実現に向けて、持続的な食料システムの構築を目指す地域の取り組みを支援する新たな交付金を創設するとともに、調達から生産、流通、消費までの各段階の取り組みとイノベーションを推進。
	この中で、有機農業にまともに取り組む地域の形成(オーガニックビレッジ)市町村主導で取り組みを推進(2025年度までに100市町村で宣言)とう事業があり、三次市においても農業振興の一つの方法として検討をすべきだと思います。ただし、事前の調査研究が重要!
	いずれにしても、食糧問題は国の政策の最重要課題の一つになって来ると思います。
	<b>(2) 畜産振興、酪農振興、飼料価格高騰等について</b>
	後継者不足、経営状況の悪化等課題が多くあります。
	畜産・酪農経営については、国の補助金がなければなり立たない事業です。また、飼料価格の高騰による大型農家や畜産会社の倒産、廃業等かつてない危機的状況です。
	飼料用原材料(トウモロコシ・牧草など)国内で、生産できる体制の整備が急務です。
	また、消費者の理解も大事です。国や自治体においても生産者と消費者を繋ぐ施策が必要です。(授業での体験や生産者の出前事業などの開催やSNSなどを活用した動画でのPRなど)

概要及び所見

三次市としても積極的な取り組みをしてほしい。

(3) 果樹振興、燃料価格高騰、肥料価格高騰等について

国の補助事業の活用や三次市独自の補助事業を考えてほしい。

持続可能な果樹生産が続けられるよう、農家の意見を聞いて希望の持てるよう施策を考えていただきたい。

※農業振興全体で、生産者に対して農業共済主体の事業で、個別所得補償の加入に対して、初回だけでも共済掛け金の補助を考えてほしい。

③ 観光振興について

観光は、コロナ渦で外国人旅行者が大幅に減少をしている中、観光関連業者は大打撃をおけている中で受けている中で、外国人旅行者にたよるだけでなく、国内の旅行者に目を向けて、国内循環型にも工夫をこらして対策を考えていく必要があると思います。

その対策に対して、自治体が支援をしていくべきではないかと思っています。

